

平成 23 年 3 月 26 日

## 株式会社太陽ミリタリーセキュリティより被災地への社員派遣について

太陽グループ（総合コンサルタント企業）では、「株式会社太陽ミリタリーセキュリティ（以下、ミリタリーセキュリティ）」の社員を、東北地方太平洋沖地震の被災地支援に派遣することを決定いたしました。

ミリタリーセキュリティは、太陽グループ各社の店舗でお客様が安心して遊んでいただくことを目的として、平成 14 年に設立された警備会社です。

その業務の性格上、ミリタリーセキュリティの社員は全員が「即応予備自衛官」で構成されています。即応予備自衛官とは、普段は民間企業で働き、有事の防衛出動、治安出動、災害派遣等において、常備の自衛官とともに第一線に立って活躍する非常勤の陸上自衛官です。彼らは 1 年以上の自衛官としての勤務経験を持ち、現在も年 5～6 回、述べ 30 日間の訓練召集を義務づけられています。

2008 年 7 月に行われた、第 34 回主要国首脳会議（洞爺湖サミット）におきましては、ミリタリーセキュリティ社員が警備活動にボランティア参加し、札幌市内と洞爺湖畔で警備の任に当たりました。

さて、未曾有の自然災害となった東北地方太平洋沖地震の発生に伴い、内閣は即応予備自衛官・予備自衛官の招集を決定。北沢俊美防衛大臣から、自衛隊の歴史上初めてとなる災害招集命令が発出されました。これに対してミリタリーセキュリティ社員二十数名より志願が出され、この中から年齢・家庭環境等を考慮した結果、全 12 名が復興の支援に赴く運びとなりました。

既に 3 月 23 日、太陽グループ本部におきまして、陸上自衛隊北部方面隊より災害等招集命令書が伝達され、12 名は自衛官として活動することとなりました。今後は 29 日 8 時を以て各部隊に出頭し、被災地での支援活動に従事することになります。

地震と津波によって大きな打撃を受けた各被災地。その最前線で復興支援に全力を注ぐこととなる 12 名を送り出すにあたりまして、太陽グループでは彼ら全員が無事に帰ってくるよう祈念し、また各々の力を被災地の皆さまのお役に立てられるようエールを送るべく、平成 23 年度太陽グループ入社式に先立ちまして、「東北地方太平洋沖地震 災害派遣壮行会」を執り行います。

本件についての詳細は、以下へお問い合わせ下さい。

株式会社太陽ミリタリーセキュリティ  
電話：011-200-6311 担当：阿部